

# 年頭のご挨拶



香川県中小企業団体中央会  
会長 国東 照正

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、平成24年の輝かしい新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素は、本会の運営に際しまして、格別のご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、3月11日に発生しました東日本大震災は未曾有の大被害をもたらしました。地震に伴う大津波によって我が国史上最悪の原発事故が起き、広範な地域での電力不足問題も発生しました。加えて、海外の洪水や台風12号などの自然災害のほか、急激な円高や欧州の金融不安など我が国の経済・社会活動が停滞を余儀なくされる多難な状況が続いた1年でありました。

しかしながら、この震災からの復旧・復興においては本県の地場産業組合をはじめ全国各地の本当に多くの中小企業組合並びに中央会が支援活動を展開するなど、中小企業組合の基本理念である相互扶助の精神が大いに発揮されました。まさに、昨年を象徴する漢字である「絆」を

強く感じた年でもありました。

このような中、本会は昨年10月20日、創立55周年記念式典を開催し節目の年を祝うとともに、県下中小企業並びに中小企業組合のさらなる飛躍・発展のため、中央会創立の原点に立ち返り、関係者が一丸となって一層努力していくことを決意したところです。

本年におきましては、次なる60周年に向けて、中小企業団体の唯一・専門の支援機関としての使命を果たすべく、中小企業並びに中小企業連携組織のニーズを的確に把握し、地域産業の支援をはじめ、経営革新・創業等への支援、情報化対策、雇用・労働対策事業の実施、新規組合設立の一層の推進などの諸事業を国・県等との緊密な連携のもと積極的に取り組んでまいります。

新年を迎え、中小企業組合をはじめとする関係者の皆様が、心も新たに、組合組織等の多様な連携のもと、本県経済の発展と中小企業の振興のために邁進されますことをご期待申し上げますとともに、本年が皆様方にとって前途明るい年となりますことをお祈り申し上げまして年頭のご挨拶といたします。

## 課題解決に向けて具体的な成果を



四国経済産業局長  
加藤 元彦

平成24年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、東日本大震災や集中豪雨、急激な円高の進展、国を二分するTPPを巡る議論など、日本が直面する数多くの課題が浮き彫りになった年となりました。

とりわけ東日本大震災は、リーマンショック以降の「円高」「法人税」「新興国の低賃金」「環境制約」「経済連携の遅れ」といった、いわゆる「5重苦」に加え、サプライチェーンの途絶や電力供給不足など、産業界に更なる難題を課し、「6重苦」の状態をもたらしました。

経済産業省は、24年度に向けて、「原子力事故・震災から立ち直る」、「これまでのエネルギー政策を反省し、聖域なく見直す。企業や国民の信頼を取り戻す」、「急激な円高、空洞化に立ち向かい、日本経済の課題の解決に取り組

む」、「内需活性化、グローバル化、イノベーションによる新たな成長の実現」という政策の4つの柱と方向性を示しています。

四国経済産業局は、四国を過疎化や高齢化、医療や災害など全国に先行して困難な課題に直面する「生活先進圏」と捉えたこれまでの取り組みを本年も進め、4つの政策の柱、とりわけ、国内空洞化対策や農業産業化、エネルギー需給、さらには新産業の創出・海外市場開拓なども念頭に置き、四国が直面している課題解決に向けての動きが、より具体的な成果に繋がるよう積極的に取り組んで参ります。

“元氣な四国が日本を変えていく。” ……ちょうど一年前にも申し上げた言葉ですが、本年も変わらず言い続け、行動して参りますので、みなさま方のご支援・ご協力をお願いします。

# 新しい年を迎えて



香川県知事  
浜田 恵造

明けましておめでとうございます。

皆様方には、産業の振興と活力ある地域づくりをはじめ、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただいております。深く感謝いたします。

現在、本格的な人口減少社会の到来と急速な少子高齢化の進展に加え、東日本大震災による甚大な被害や原発事故による影響、さらには世界的な景気後退に伴う経済雇用環境の悪化等により、地域活力の低下が懸念されています。こうした中、地方においては、地方分権改革の進展に合わせ、知恵と工夫をこらしながら、将来を見据えた地域経営を進めていくことが求められています。

このため県では、昨年、新たな香川づくりに向けて、平成23年度から5年間の県政運営の指針となる「せとうち田園都市香川創造プラン」を策定いたしました。このプランでは、「元気の出る香川づくり」、「安心できる香川づくり」、「夢と希望あふれる香川づくり」の三つを基本方針として、海と田園と都市の魅力がきらめく香川をめ

ざしています。

とりわけ、「元気の出る香川づくり」では、企業の誘致や地場産業の振興、中小企業の経営基盤の強化や事業展開の支援を進め、足腰が強く競争力の高いものづくり産業の育成や雇用の確保・拡大を図り、地域経済の活性化につなげてまいります。

本年も、より一層、施策の選択と集中を徹底するとともに、むだを省き、効率的な行政運営に努め、「赤ちゃんからお年寄りまで、すべての人が笑顔で元気に暮らせる香川」の実現に向けて、各種施策の推進に全力で取り組みたいと考えています。

皆様方には、今後とも、各般の取組みの推進を図られ、本県経済の発展と活力ある地域づくりに一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

新しい年を迎え、香川県中小企業団体中央会のみすますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

# 会長年頭挨拶



全国中小企業団体中央会  
会長 鶴田 欣也

平成24年の新春を迎え、お慶びを申し上げます。

昨年は、3月11日に発生した東日本大震災により未曾有の大被害が発生し、その震災の影響に加え、長引く円高、欧州における不安定な金融情勢、電力供給の制約等懸念材料を数多く抱えて年を越すことになりました。

全国中央会としては、昨年、創立55周年を迎える節目の年でありました。東日本大震災の被害は極めて甚大でしたが、被災地に対する全国各地の組合からの救助・救援、たくさんの義援金、救援物資の提供を行って頂き、そのお陰で絆が大いに再認識された年ともなりました。また、仮設店舗から事業再開を果たした組合、水産加工業者による加工・物流施設の共同設置によって事業再建を図った組合、複数の企業がグループ化して自動車部品のサプライチェーンの復旧を行った工業団地の自動車部品供給グループなど組合等連携組織による復旧・復興に向けた取り組みが始まりました。

この絆をより強固にするため、「組合 絆 ルネサンス」を合言葉に、今年は、全国中央会として、被災地中小企業と組合の早期復興を強力に後押しするとともに、縮小均衡する国内市場、歴史的な円高による事業環境の悪化、産業空洞化等に中小企業等が適切に対応できるよう新たな事業を実施していきます。

その主なものを3つ挙げてみます。まず、全国中央会では、第三次補正予算における新たな事

業に取り組み、中小企業の海外展開の支援、ものづくり技術力の維持・強化、人材の確保・育成の支援等に新たな取組を開始します。これにより、被災地等の地場産業・ものづくりの活性化、中小企業の連携体を取り組む試作品の開発等、ジャパン・ブランドを活用した複数の中小企業による国内外への販路開拓、有能な人材の確保定着を推進していきます。

二つ目は、広域・異分野の組合間連携等の推進です。連携による新しい技術、製品、マーケティング、サービス開拓等に加え、例えば、事業継続計画（BCP）において、従来、個々の企業では難しいとされていた代替生産等を行う組合間協定づくり等を広げていきます。

三つ目は、経済連携協定の推進への対応です。富山県の金型メーカーで組織する金型協同組合が、組合出資による現地法人を立ち上げて話題となりましたが、このような組合による海外展開を推進していきます。特に、組合が取り組む海外展開ビジョンの作成や国内事業の構造改善計画の策定等を強力に支援していきます。

「組合 絆 ルネサンス」の言葉通り、組合の絆の力でもって、被災地が、我が国経済が、そして我々中小企業・組合が、再び活性化できるようあらゆる組合関係者が中央会の活動に積極的にご参画頂きますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとってよい年となりますようご祈念申し上げます、私の年頭のご挨拶と致します。

平成24年 元旦

## 年頭挨拶



株式会社商工組合中央金庫 高松支店  
支店長 国分 孝一

新年明けましておめでとうございます。

平成24年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、海外経済の回復を背景に輸出が持ち直し、日本経済が足踏み状態から脱しつつあった中、3月11日に東日本大震災が発生しました。サプライチェーンの寸断や原子力災害に伴う電力供給制限で企業の生産活動が大きく落ち込むとともに、自粛ムードの広がりから個人消費も落ち込み、年前半の景気は極めて厳しい状況が続きました。また、年後半も、欧州債務問題が世界的な金融市場の混乱を招いて急速な円高も進み、再び、先行きに不透明感が強まりました。中小企業も、震災直後に過去最大の落ち込みをみせた後、復興・復旧の進展とともに持ち直しの兆しがみられましたが、急速な円高の進行で景気の先行き不透明感が強まると、景況感も方向感が定まらない展開となりました。

こうした中、商工中金は、東日本大震災による経済、金融、国民生活への影響を踏まえ、災害復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまに対し、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組ましました。また、昨年7月に創設した成長戦

略総合支援プログラムを活用する等、中小企業の皆さまの企業価値向上を全力でサポートしました。

本年の日本経済は、復興投資の本格化や外需の持ち直しから回復軌道に乗ることが見込まれているようですが、欧州の財政問題の悪化・拡大に伴う海外の景気後退や更なる円高の進行懸念など、多くのリスク要因も存在しています。商工中金は、求められる機能・役割の大きさを十分認識し、引き続き、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまを支援することはもとより、急激な円高の影響を受けている中小企業の皆様に対するセーフティネット機能の発揮に組織をあげて最優先で取り組んでまいります。

少子高齢化や企業の海外進出に伴う国内需要の低迷が企業経営の大きな重しとなっておりますが、こうした厳しい環境にあるからこそ、企業家精神に基づく積極的な行動力が何よりも重要です。中小企業の皆さまが大きな力を発揮し、日本経済の発展に貢献していくことを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



本年もよろしく  
 お願い申し上げます

### 香川県中小企業団体中央会

会 長	国東 照正	香川県信用組合			
副会長	八木 敏彦	全四国スレート販売協同組合	副会長	細溪 英一	協同組合日専連高松
専務理事	谷野 克明	専 従			
常任理事	合田 武	香川県鉄工事業協同組合	常任理事	佐々木 勝	香川県食糧事業協同組合
//	星合 洋一	香川県自動車整備商工組合	//	松田 等	香川県漆器工業協同組合
//	小竹 義孝	香川県建築事業協同組合	//	佐野 年計	香川県印刷工業組合
//	榊 久雪	香川県火災共済協同組合			
理 事	太田 英章	香川県臨海企業団地協同組合	理 事	中川 悟	香川県管工事業協同組合連合会
//	田中 光男	香川県中古自動車販売商工組合	//	三木 義忠	小豆島手延素麺協同組合
//	貞野 正昭	赤帽香川県軽自動車運送協同組合	//	楠木 寿嗣	社団法人香川県トラック協会
//	堯天 啓行	香川県製粉製麺協同組合	//	神原 満	川重坂出事業協同組合
//	大峯 茂樹	本場さぬきうどん協同組合	//	岡野 紘彦	香川県造園事業協同組合
//	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合	//	大内 泰雄	香川県商店街振興組合連合会
//	久保山 勝	香川県美容業生活衛生同業組合	//	太田 元	庵治石開発協同組合
//	塩 日出男	香川県屋外広告美術協同組合	//	吉田 勤	日本手袋工業組合
//	大倉 健一	香川県農機具商工業協同組合	//	辻村 啓一	香川県砕石事業協同組合
//	榊原 賢治	香川県家具商工業協同組合	//	山下 正一	香川県電気工事業工業組合
//	川畑 政廣	香川県タクシー協同組合	//	増田 浩	瀬戸内食品加工協同組合
//	鎌田 郁雄	香川県醤油工業協同組合	//	三矢 昌洋	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合
//	石原 和夫	香川県不動産事業協同組合	//	鳥居 弘明	小豆島調理食品工業協同組合
//	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合	//	佐々木 正富	建設協同組合高松総合センター
//	藤澤 孝行	協同組合三木工業クラブ	//	土居 正明	中央会青年部会長
監 事	大塚 成和	香川県中央コンクリートブロック協業組合	監 事	長居 亮三	高松エルピーガス販売協同組合
//	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング			

# オレ流B級グルメの楽しみ方



正岡 利朗  
(高松大学経営学部 教授)

Toshiro  
Masaoka

みなさま、明けましておめでとうございます。当方の担当も9年目に突入しましたが、本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

今回の話題は、ズバリ「B級グルメ」です。B級グルメとは、いろいろな捉え方があるのですが、当方的には「高級とは言えない食材を各料理人の創意工夫で加工し、多様な調味料で濃く味付けして、大衆向けに安価で提供される料理」としておきます。具体的な料理名は、牛丼・カツ丼・たこ焼き・お好み焼き・チャーハン・カレーライス・餃子・とんかつ・ハンバーグ・焼きそば・ラーメンなどです。もちろん、わが香川の誇るうどんもそれに該当しますよね。

そのB級グルメ、近年ではブームが加熱しているようで、これを利用して「地域振興・活性化」を図ろうとする地域・団体もちらほら見受けられるようになってきました。そして、いつのまにか「B?1グランプリ」という大会が開催されるようになり、「ご当地グルメ」の日本一が毎年決定されているそうです。昨年11月に姫路市で開催された直近の大会では、63団体が出店して、50万人以上が来場し、中には4時間待ちのブースも現れたようです。いや～、すごい過熱状態ですね!

このような各地のB級グルメを食べ比べできるイベントに足を運ぶのも確かに一興かと思われませんが、当方は、個人的にはたかがB級グルメに何時間も並んで、せいぜい1つか2つの料理を味わうことをバカらしいと考えているので、そのようなイベントにはしらんぷりで、決して行くことはないでしょう。しかし、B級グルメに該当する料理自体は大好きなので、自分流の楽しみ方でB級グルメを試しております。

そのためには、スイーツとは勝手が違い、「ネット通販でお取り寄せ」というわけにはいかず、やはり現地を訪問しなければなりません。しかし、当方は基本的に出不精なので、あまり旅好きではないのです。そこで、出張とか所用で他の土地に行く機会に、「ついでに」その土地のB級グルメを味わおう、というスタイルになります。つまり、「せざるを得ないときには、これを少しでも実りあるモノにしよう」という姿勢の一環なのです?

出張などが決まったときには、食材そのもので勝負できる「A級グルメ」などには目もくれず、いそいそと情報収集に努めます。別にグランプリなどに出なくても、まじめにおいしいものを安く提供している店はあちこちにあります。ただし、現地に到着した後、地元のに聞くスタイルでは、出張の際にはとくに時間制約が厳しく、ヒトによってはA級グルメに誘導しようとしたりするので、やはり、出発前が勝負です。ネット検索を縦横に試み、候補となる店舗をいくつかセレクトします。

その際に、「食べログ」などは大して参考にはな

りません、食の好みについては個人差が大きすぎるためです。そこで、自分と同じような臭いのする、信頼できる個人のHPを見出すのが、成功率(なんの成功なのか?)を高めるために重要な作業となるのです。

そして、さらに困ったことは、そこに至るまでの公共交通の便や営業時間、定休日もきっちり調べてからでないといけない目に遭う可能性が高いことです。のんびりムードとは裏腹に、地方に行けば行くほど下調べが重要となります(当方が行くのは、主に地方都市なので、交通の便はまだマシですが)。最近では、スマートフォンの普及により、現地でも各種の情報収集が容易になってきていますが、出発前に下調べを完了させておくことがやはり重要な姿勢だと思います。

このような下調べを経て、当方がここ数年で試したモノを挙げてみますと、だいたい以下ようになります。もちろん、すべてに満足できたわけではなく、当たり外れがあったのですが、個々についてのコメントは差し控えます...

- 釧路市・まるひらの「塩ラーメン」¥600
- 釧路市・泉屋の「スパカツ」¥840
- 河北町・といやの「肉そば」¥650
- 伊那市・うしおの「ローメン」¥530
- 伊那市・花紋の「ソースカツ丼」¥800
- 柏市・ホワイト餃子の「焼餃子」¥420
- 富山市・大喜の「ブラックラーメン」¥700
- 金沢市・グリルオーツカの「ハントン風ライス」  
¥750
- 四国中央市・伊予万里の「揚げ足鳥」¥580
- 西条市・上海軒の「焼めし」¥400
- 今治市・大黒屋飯店の「焼豚玉子飯」¥700
- 大豊町・ひばり食堂の「カツ丼」¥700
- 大分市・金なべ亭の「南ばん定食」¥1,050
- 長崎市・ツル茶んの「トルコライス」¥980
- 石垣市・くわっちーの「まぐろ丼」¥750

(B級グルメ好きの)みなさまにおかれては、どのように楽しんでいらっしゃるのでしょうか。それぞれ独自のスタイルを編み出しているものと推察されますが、恐らく「うどん本位制(なんでもうどんの価格帯と比較して考える習性)」を採用している香川県民としては、B級グルメの価格面にもシビアな選別眼を働かせていることでしょう。

しかし、星の数ほどうどん屋がある香川県は、B級グルメファンにとってはサイコーですね!ただし、食べログで2011年のベストレストラン20軒中17軒がうどん屋!というのは、ちとやり過ぎのような。確かに「うどん県」の面目躍如たるものはありますが、他のB級グルメを提供している店も県内にたくさんあるわけで...

NEWS  
1

さめきうまいもん祭り「食の大博覧会」及び「第1回かがわ菓子まつり」を開催

12月17日(土)18日(日)の両日、サンメッセ香川(高松市林町)において、さめきうまいもん祭り「食の大博覧会」と同時に「第1回かがわ菓子まつり」が開催され、県内外から本当に多くの方が会場につめかけ、大変な盛り上がりになりました。

さめきうまいもん祭り 「食の大博覧会」

大展示場で開催されたさめきうまいもん祭り「食の大博覧会」は香川県などが主催し、会場は「シェフレ스토랑」「グルメ」「畜産」「農商工連携」「食空間」「食の展示」「屋外グルメ」に分けられ、それぞれのブースで県産品の展示や販売が行われました。総数約100団体が出展し、うち会員組合からは次の4組合が出展し、趣向をこらして県産品のPRを行いました。

●香川県食肉事業協同組合連合会・高松食肉事業協同組合

畜産ブースでは、香川県食肉事業協同組合連合会が香川県畜産共進会で知事賞を受賞した和牛(讃岐牛「オリーブ牛」)や交雑種の販売、試食を行いました。また、高松食肉事業協同組合は、ステーキやすき焼きなど用途に合わせた香川県産のホルスタイン牛のお肉を販売しました。試食コーナーでは長蛇の列ができ、販売コーナーでは準備していた商品が売り切れ、追加で搬入されるなど、大盛況でした。



▲販売コーナー(高松食肉事業協同組合)



▲試食コーナー(香川県食肉事業協同組合連合会)

●本場さめきうどん協同組合

屋外のグルメゾーンにおいて、「年明けうどん」と讃岐名物「しっぽうどん」を販売しました。この「しっぽうどん」は4月に東北の被災地でおこなった炊き出しと同じメニューで、用意されたうどんがまたたく間に売り切れるほど盛況でした。大博覧会当日はとても冷え込んでおり、うどんを食べたお客様は体の芯から温まりました。



▲年明けうどんとしっぽうどん



## ●小豆島手延素麺協同組合

食の展示PRゾーンにおいて、伝統の組合ブランド「島の光」の素麺やひやむぎ、新しく開発されたオリーブ素麺やカップ麺など、たくさんの商品が展示されました。お客様は、瀬戸内の風土、小麦、塩加減、こだわりの名水など“自然と対話”しながら長年の技の伝承でつくられた小豆島素麺の美味しさの秘密に耳を傾けていました。



▲素麺の展示

## さぬきうまいもん祭り「第1回かがわ菓子まつり」

小展示場の「第1回かがわ菓子まつり」は香川県菓子工業組合と香川県洋菓子協会が共催で開催しました。今回が初めての開催となり、県産品コンクール受賞作品の展示、創作菓子の展示、喫茶コーナー、お茶席、体験コーナーが設けられ、会員組合からは次の2組合が出展しました。

### ●香川県菓子工業組合

紅早生餅の実演販売を始め、キッズお菓子体験教室や県産品コンクール受賞作品の展示を行った他、カフェ、茶席などを設けました。来場者は精緻な工芸菓みに、「これがすべてお菓子で出来ているのか」と目を見張り、お菓子の木型や焼印などの道具類にも興味津々の様子でした。また、お徳用のお菓子の前にもお客様がたくさん集まっていました。



▲紅早生餅実演販売



▲工芸菓子の展示

### ●香川県パン協同組合

9月に東京で開かれた第2回全国ご当地パン祭りに出展した「うどんコリーブパン」とさぬきの米粉新商品・料理コンテストのプロの部で優秀賞を受賞した「讃岐のあん餅雑煮風パン」がイベント限定で販売されました。普段店頭で販売していない珍しいパンをたくさんのお客様が試食し、購入していました。



▲うどんコリーブパン

## 中央会だより 1

## 起業者向けセミナーを開催

12月5日、本会は、ホテルパールガーデン（高松市）において起業者向けセミナーを開催し、県下の中小企業経営者並びに後継者約50名の出席がありました。

今回のセミナーでは、アントレプレナー（起業家）アドバイザー鈴木健介氏を講師にお招きし、「負の連鎖から会社を守る」をテーマに講演いただきました。

講師は、レコード会社のディレクター等を経て、アメリカ保険会社の日本進出に参画、脱サラによって貿易会社を起業しますが、16年後に倒産。翌年にアウトソーシング会社を起業し再起します。現在はコンサルタント会社代表を務めるとともに、アントレプレナーアドバイザーとして活躍されています。

講演で鈴木氏は、企業の成長過程は5つのステージの繰り返しであると述べ、事業を継続させるための“やってはいけないこと”をステージごとに解説。5つのステージとは①事業を計画し立ち上げる“スタート期”②基盤を盤石とする“成長期”③市場占有率を高める“躍進期”④“完成期”⑤新たな事業や商品開発に立ち向かう“転換期”であり、今現在の自分はどこの位置にいるのかを見極めることが大事である。特に転換期においては、「現状を守ろうとしてはいけない」「やるべきことはスタート期に戻ること」と力説されていました。

また、「客よし、世間よし、自分よし」の「三方よし」が商売を続ける基本であり、「買い手も喜び、売り手も喜び、社会も喜んで商売は成立する。自分が儲ける方法を考えるのではなく、相手のことを考えると、自分の利益も結果としてついてくる」と話されました。

出席者からは「実体験を交えてのリアルな講演だった」「客と人を大切に事業展開していきたい」などの感想がありました。



▲講師の鈴木健介氏



▲講習会の様子

## 中央会だより 2

ワーク・ライフ・バランス推進事業  
カエル(Change)かがわキャンペーン

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現するために、カエル（Change）かがわキャンペーンに取り組み、働きやすい職場環境づくりを推進しています。

キャンペーンの内容として、労働時間の短縮に向けた取組みや柔軟な勤務体制を導入、また、導入しようとする企業等を「カエルチャレンジ企業」として募集しています。

また、「子育て行動計画策定企業認証マーク」の交付や「子育て応援企業表彰」も実施しています。

ぜひ、キャンペーンに参加して、優れた人材の確保や企業のイメージアップにお役立てください。

## 【カエルチャレンジ企業】

<申請資格>

- 県内の企業・事業所及び団体
- 働きやすい職場環境づくりのため、労働時間の短縮に向けた取組みや柔軟な勤務体制を導入し、また、導入しようとしていること

【問い合わせ先】 香川県中小企業団体中央会 連携支援部（丸山、朝国、高國） TEL 087-851-8311

## 中央会だより 3

### 新規学卒者等の採用に関する要請

12月21日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、新規学卒者等の採用などを含む雇用確保等に関する協力要請がありました。

平成20年度のリーマンショック以降、新規学卒者の就職環境は厳しい状況が継続しており、雇用失業情勢は持ち直し傾向にあるものの、急激な円高の影響など景気の先行きの不安材料により、今後、採用が絞り込まれる懸念があります。

今回の要請は、このような状況を踏まえ、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対してなされました。



▲要請を受ける谷野専務理事

つきましては、会員組合等におかれましては、傘下事業所にご周知いただきますようご協力をお願いいたします。

## 中央会だより 4

### 講演会のご案内

香川県中小企業団体中央会新春講演会並びに新春交流会及び香川県商店街振興組合連合会新春講演会を下記のとおり開催いたします。

みなさまお誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

#### 【香川県中小企業団体中央会新春講演会並びに新春交流会】

- 日 時 平成24年1月24日(火)16時～
- 場 所 高松国際ホテル 新館2階「瀬戸の間」高松市木太町2191-1 TEL 087-831-1511
- 内 容 (1)新春講演会(16時～17時30分)  
テーマ 「2012年の世界経済と日本の中小企業～今、中小企業経営者は何をなすべきか～」  
講 師 立教大学経済学部 教授  
(株)中小企業サポートネットワーク 代表取締役 山口 義行 氏
- (2)新春交流会(17時40分～18時40分)  
参加料 無 料(講演会並びに交流会)
- 申込先 香川県中央会 総務企画部(西本、高橋)TEL 087-851-8311



▲山口義行氏

#### 【香川県商店街振興組合連合会新春講演会】

- 日 時 平成24年2月8日(水)15時～16時30分
- 場 所 ロイヤルパークホテル高松 3階「シルクホール」  
香川県高松市瓦町1-3-11 TEL 087-823-2222
- 内 容 テーマ 「食によるまちおこしと地域ブランド戦略 ～如何にB級ご当地グルメは存在するか～」  
講 師 富士宮やきそば学会 会長 渡辺 英彦 氏  
受講料 無 料
- 申込先 香川県商店街振興組合連合会 事務局(谷本、藤井)TEL 087-851-8311



▲渡辺英彦会長

## FROM青年部

## 交流会を開催

12月5日、本会青年部はホテルパールガーデン（高松市）において交流会を開催し、青年部会員と来賓を合わせて30名が参加しました。

始めに、土居正明会長より「青年経営者そして異業種の集まりだからこそできることがあるはず。我々から元気を発信していこう」との挨拶がありました。

続いて鎌田守恭顧問より挨拶を頂いた後、漆原憲和相談役の乾杯の発声により、交流会がスタートしました。

交流会のイベントとして、今年は「テーブル対抗カラオケ大会」を実施、各テーブルの選抜者が、自身の持ち歌を披露しました。優勝は『無錫旅情』を歌った十河孝浩氏（香川県電気工事業工業組合）でした。

終始和やかな雰囲気の中、会員間の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。



▲土居青年部会長挨拶



▲交流会の様子

## お知らせ

## 冬季の省エネルギー対策について ～3月までは冬季の省エネキャンペーン～

11月から3月までの期間はエネルギー消費が増加する季節です。暖房中の室温を適切に調整する等の省エネルギー対策を実践しましょう。

また、今冬は、四国管内でも電力不足が懸念されておりますので、節電へのご協力をお願いいたします。会員組合等におかれましては、傘下事業所にご周知いただけますようご協力をお願いいたします。

## 特に心掛けていただきたい冬季の取り組み

## &lt;空調&gt;

- 暖房中の室温は、原則住宅においては20℃、ビルにおいては19℃を徹底する。
  - 暖房効果を高めるため、こまめにエアコンのフィルターの掃除をする。
  - エアコンを購入するときは、省エネラベルを確認し、省エネルギー性能が高い機能を選択する。
- ※ガス・石油ストーブを使用する時は、換気に注意しましょう。

## &lt;照明&gt;

- 不必要時のこまめな消灯に努める。
- 支障のない範囲での照明の間引き（時に通路や窓際）に努める。
- 照明器具を購入するときは、省エネ型の電球型蛍光灯やLED電球等を選択する。

詳しくは下記HPをご覧ください

「家庭の省エネ大辞典」<http://www.eccj.or.jp/dict/>

「節電アクション」<http://setsuden.go.jp/>

## 商工中金だより

独立行政法人日本貿易保険(NEXI)と連携し、「NEXI 貿易保険付輸出代金債権担保融資」制度の取扱いを開始します。

### 【「NEXI貿易保険付輸出代金債権担保融資」制度】

(1) 融資対象者	NEXIの貿易保険を付保された輸出代金債権を保有する法定中小企業
(2) 融資条件	・融資金額 (日本円) 輸出代金債権額を上限 (米ドル) 100千ドル以上、かつ輸出代金債権額を上限
	・融資期間 原則として1年未満(輸出代金債権の決済期日まで)
	・資金使途 原則として運転資金
	・融資形態 手形貸付
(3) その他	・担保 以下について担保取得とする。 ①債権譲渡禁止特約がない輸出代金債権 ②NEXI貿易保険保険金請求権
	融資に際しては当金庫の審査が必要となります。審査結果によっては御希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】  
株式会社 商工組合中央金庫 高松支店  
〒760-0052 高松市瓦町1-3-8  
TEL 087-821-6145 FAX 087-851-6074

## 日本政策金融公庫だより

### ● 中小企業事業からのご案内 ●

なお、下記掲載は貸付制度の一部ですので、詳しくは日本政策金融公庫高松支店中小企業事業までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
新事業育成資金 (固定金利型)	6億円	特別利率③ ただし、6年目以降は 基準金利+0.2%	6億円	設備 15年 運転 7年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①②③	5億4千万円	設備 20年 運転 7年
新事業活動促進資金 (固定金利型)	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	特別利率①②③ 特措エネルギー	4億円	設備 15年 運転 7年
IT活用促進資金	7億2千万円	特別利率①②	2億7千万円	設備 15年 運転 7年	経営環境変化 対応資金	4億8千万円	基準利率 (注1)	—	設備 15年 運転 7年
企業活力強化資金	7億2千万円	特別利率①②③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% 基準利率+1.0%	—	設備 10年 運転 5年
海外展開資金	7億2千万円	基準利率 特別利率②	2億7千万円	設備 15年 運転 7年	企業再建・ 事業承継支援資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①	2億7千万円	設備 20年 運転 10年

(注1) ●長期運転資金に限り、上限3%

(注)同一貸付でも、信用リスクや貸付期間により、適用利率が異なります。融資利率等の詳細は日本政策金融公庫HPをご覧ください。

### ● 国民生活事業からのご案内 ●

#### ● 融資制度内容 ●

#### 経営の安定を図る方に

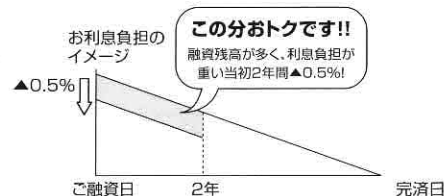
ご融資の対象	このたびの震災の影響等により業況が悪化し(商品・材料の値上げ、消費マインドの低下による売上の減少等)、資金繰りに支障を来している方、または支障を来すおそれがある方
ご融資限度額	4,800万円
ご返済期間	運転資金8年以内 設備資金15年以内 (据置期間3年間)
ご融資利率	利率 1.65%~(固定) (23.12.9日現在) ①売上が減少する等業況が悪化している方に対する利率低減…(低減利率)0.3% ②雇用の維持・拡大を図る方に対する利率低減…(低減利率)0.2% ③上記の2項目に該当する方に対する利率低減…(低減利率)0.5%

#### 設備資金ご利用の方に

#### 設備資金なら当初2年間 0.5%引き下げ!

対象…設備資金を新たにご利用の全ての方  
限度額…各融資制度に定める限度額  
利率…当初2年間:各貸し付け制度に定める利率-0.5%  
3年目以降:各貸付制度に定める利率

※いずれも平成24年3月31日までの取扱です。 ※ご返済期間等によって異なる金利が適用されます。  
※ご相談の結果、お客さまのご希望に沿えないことがあります。



「国の教育ローン」もお取り扱い中ですので、ご利用ご希望の方は、  
高松支店又は教育ローンコールセンター (0570-008656) までお気軽にお問い合わせください。

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2・3階 URL: <http://www.jfc.go.jp/>

中小企業事業(旧 中小企業金融公庫)  
〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階  
TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423

国民生活事業 融資相談係(旧 国民生活金融公庫)  
〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2階  
TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274

# 「景気は先行き不安が拭えない状況が続く」 2011年11月

11月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-41.6ポイントで前月調査の-37.5ポイントから4.1ポイントの悪化となった。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は-29.1ポイントで前月調査の-33.4ポイントから4.3ポイントの改善、収益DI値は-45.8ポイントで前月調査の-41.7ポイントとから4.1ポイントの悪化となった。全国集計においては「雇用人員」を除く全指標で悪化、特に「売上高」は大きく悪化し、先行き不安が拭えない状況が続いている。

## 香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況
製 造 業	食料品									
	繊維・同製品									
	木材・木製品									
	印刷									
	窯業・土石製品									
	鉄鋼・金属製品									
	一般機器製造業									
	輸送用機器									
	その他									
非 製 造 業	卸売業							—		
	小売業							—		
	商店街							—		
	サービス業		—					—		
	建設業		—					—		
	運輸業		—					—		
	その他		—					—		
DI値(当月)		-29.1	-44.4	-25	-22.9	-45.8	-31.2	4	-12.5	-41.6
DI値(前月)		-33.4	-22.2	-27.1	-16.6	-41.7	-33.3	-8	-16.7	-37.5

好 転	やや好転	変わらず	やや悪化	悪 化
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

DI(ディフュージョン・インデックス)…前年同月と比較した企業の景況感を示す業況判断指数

計算式: (「増加」「好転」した組合数 - 「減少」「悪化」した組合数) / 有効回答組合数 × 100

※ただし、在庫総数についてはDI値マイナスの場合には好転、プラスの場合には悪化の方向とします。

※中央会では、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役員(19業種、48名)を情報連絡員として委嘱しており、本調査報告は、連絡員からの景況報告をもとに毎月集計しております。

## 業界情報

### 【食料品】

- 本年2回的小麦・小麦粉の価格改定により値上がりしたが、製品（麺類）への価格転嫁はできていないようである。今月20日出荷分から業務用25kg当たり45円の値上げを公表している。（製粉製麺）
- 調理食品 出荷量は前年同月比97.5%。（食料品）
- 県外に本店を持っているスーパーマーケットの売上に伴い、他県業者の安値商品の供給により県内業者の売上は減少傾向にあると思う。（豆腐）
- 組合員の業況は11月に入り持ち直しが見られ、組合の生揚出荷状況も前年同月比98%程度に回復している。ただ、原料である小麦（輸入小麦）が13~20%程度価格上昇の状況であり、平成24年1月以降さらに値上がりが見込まれている。また、食糧も東日本大震災による供給減等から17%程度値上がりしている。（平成23年4月基準）。組合の出荷量も数年前から低下傾向にあり省エネ・省電力等を含め、製造費の削減に努める方策しか見当たらないのが実状である。（醤油）

### 【繊維・同製品】

- 製品の納入は順調に進んでいるが、今冬の暖冬により店頭での販売が不調で、今後の寒さに期待する事が大きい。（手袋）

### 【木材・木製品】

- 昨年の同時期に比べると仕事量は2~3ヶ月程度確保しているようであるが、販売単価が少し低くなっている。いずれにしても若年層が購入しなくなっており老年層も財布の紐が固く、現状は難しいものがある。（家具）
- 住宅エコポイントも決定されましたが、30万から15万ポイントに減少し、セールスポイントにはあまり効果が期待できないように思う。（製材）
- 住宅エコポイントが切り替わる時期であったため住宅着工戸数も伸び悩み、需要が減少した。（木材）

### 【印刷】

- 印刷資材のうちインキは、値上げ交渉はほぼ一巡し各社別に結果が出ている。印刷用紙は卸の段階で代理店よりの値上げが確定し、印刷業各社に対しても値上げ要請が強くなっている。各社別の対応となるが年内には一応決着の見込み。（印刷）

### 【窯業・土石製品】

- 市況の悪い状況が継続しており、回復の兆しが見えない現状である。（生コンクリート）
- 「来年の仕事」としての受注が不足している状況で、組合員の多くは頭を抱えている。（石材加工）

### 【鉄鋼・金属】

- タイの洪水による工場用電機部品入荷が懸念されるところである。また、原材料高はとどまるどころを知らず、収益を圧迫しつつある。（鍍金）

### 【一般機器】

- 全般的に足踏み状態から弱含みへと混迷を続けている。フェンス製造、鉄骨加工、組立砕石プラント、廃水処理機械は引き合いも低調で値段も厳しく大変な状況である。いずれも公共関連投資の削減及び民間の需要が伸びない結果である。建設用機械は北米、中南米、中東の資源開発等を中心に昨年より受注量が増えたものの、一時震災の影響から生産が落ちたがその後順調に回復、上半期の売上は大幅に増加し、今期を通じて好調な売上げが続く見通しである。造船及び関連工業は12~13年までの受注は確保されている。しかし、13年以降の契約が出来ない状況にある。建設用機械、造船業は輸出が中心であり、急激な円高の影響で先行き厳しい経営環境が予想される。一般機械のなかでも中小零細企業は依然として仕事量は定時操業程度で本格操業までは当分難しい。プラント関連では米国航空機メーカーの大型加工品郵送時の搬送用取付具の開発により、下期より生産が本格化し、継続的な受注が見込まれる。熱交換機、圧力容器については震災復興の需要が徐々に出てきつつある。（一般産業用機械・装置）

### 【輸送用機器】

- 来年中旬以降は受注が減少。売上、雇用人員共に減少すると思われます。（造船）

### 【その他製造業】

- 現在のところ市場から要請等はないが、例年の受注品は少し数量が減少しているようである。（団扇）

- 11月は伝統的工芸品月間で、全国各地で国の伝統的工芸品に指定された製品のPRや即売催事が開催された。またサンポートではアスバックに関連して地場産品をPRするコーナーも設けられ、伝統工芸品産業の広報には大きな役割を果たした。（漆器）

- 11月は暖かいため寝具の動きも鈍い。防衛省から布団の受注については、今回の震災の影響で前回の3倍以上の注文があった。しかしこれは一過性の事で、来期は大幅に減少すると思われる。（綿寝具）

### 【小売業】

- 先月に引き続き取引価格、取引量の減少。（青果物）
- 価格転嫁後、すぐ下落した市況を憂慮し「皆がもう少し我慢して市況を構築し企業として適正な利益が出せる業界にしていく必要があるのではないかと」の指摘が出ている。販売不振が続くなか業者が価格に敏感になっており、安易な価格競争に走りやすい状況が生まれているが、市況構築の為に販売業者の協調姿勢が求められている。（石油）
- 昨年10~11月の商況は異常ともいえる盛り上がりだっただけに今年は前年同月比で見ると3~4割の落ち込みと厳しい。またテレビの価格も異常ともいえる低値で販売しても何千円しか利益の出ない現状である。売れないから売価を下げる。他の販売店が下げたから自店も下げるといったイタチごっこであり、大きな問題である。テレビに関しては2~3年分を先売りした感があり、来年も同じ状況になると思う。（電機）

### 【商店街】

- 特に大きな変化はないが、収益状況が悪い。（高松市）
- 非常に厳しい11月になった。商店街の通行量が減少している事が大きな原因ではないか。どの業種においても極端な売上不振が続き結果は落込んでいる。年末が近い月にしては昨対比、今年度と最悪のような気がし、辛抱が続きます。明るい材料がまったくない。（高松市）
- とにかく業況は悪い。どの店も「こんな暇さはない」と嘆いている。将来への不安や年金・福祉など様々な問題による消費不安は深刻だといえる。（丸亀市）

### 【サービス業】

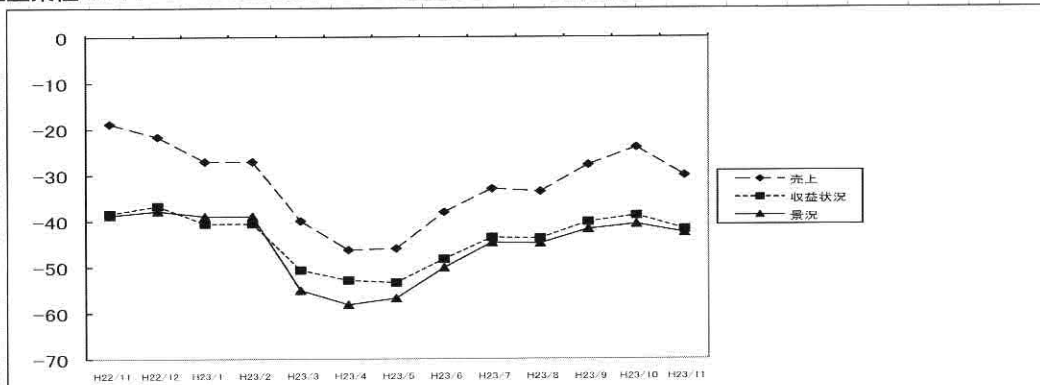
- 歳末商戦で店舗等ディスプレイの需要は通常の月と比べ多いと考えます。（ディスプレイ）
- 11月は、当社としては対前年比25%売上げがアップした。出張は、減少しているが、宴会増加の影響で。業界としては、ほぼ例年通りである。しかし、内容としては、宿泊人数対前年比40%増で売上は増の25%であり、大きく収益には貢献していない。先月も記入したが、宿泊サイトを見て頂くとうわかるが、低単価化が著しくまた、丸亀町G街区に大手ホテルチェーンの進出もあり、各ホテルはしのぎを削っている。資本力のあるホテルは、大きくネット上のリスティング広告などを行っているが、中小には金額の高い広告は打てず、厳しい状況である。なお、12月に入り、宿泊予約サイトで確認しているが、香川への入込客は、15%以上減少し、想像以上に出張が取りやめになっている状況である。人気上位ホテルから埋まっていくことを考えると、下位のホテルは、全くお客様がいない状況が想定される。非常に危険な状況であり、小規模施設の中には、年度末に廃業を検討している所も多いと聞いている。（旅館）
- 大きな変化は見られないが、スマートフォン、クラウドへの対応が不可欠になってきている。社内システムとの融合が今後見込まれる仕事となる。（情報）

### 【運輸業】

- 景気の低迷により営業収入、輸送人員とも依然として減少傾向が続いている。特に東日本大震災以降、夜間の客が非常に少なくなっている。（タクシー）
- 10月分の高速道路通行料金支払額の対前年同月比は99.3%と6月以来5ヶ月連続マイナスとなったがその減少幅は5か月で一番少ないものとなった。年末に向けての荷動きの増加が期待され、早くプラスに戻ることを願っている。来年1月1日からは首都高速道路及び阪神高速道路は料金圏のある均一料金制から料金圏のない対距離別に移行する。料金圏をまたぐケースでは値下げとなるが、またがない中心部のみ利用では現行料金よりも高くなる。なお、12月1日から東北地方無料措置の見直しが行われます。（トラック）

## 全国集計による主要3指標(DI)の推移(対前年同月比)

### ■全業種



※集計結果は、本会ホームページ上でもご覧になれます。 <http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

## 有限会社 角田商店

- 所属組合 香川県米穀小売商業組合
- 役職名 代表理事

### 会社の概要



代表取締役社長 角田 朝則

代表取締役社長 角田 朝則  
 創業 明治40年  
 資本金 500万円  
 従業員数 4名  
 住所 香川県高松市城東町1丁目6番5号  
 TEL 087-821-4052  
 FAX 087-822-7735  
 事業内容 米穀小売業



▲店舗外観

### 沿革

明治40年 角田清吉が高松市東浜町にて創業  
 昭和25年 同所にて登録を受け、米穀・薪炭の販売を再開  
 昭和37年 資本金300万円にて有限会社設立  
 飲料・食品贈答品・燃料の販売を開始  
 昭和61年 資本金を500万円に増資  
 平成元年 佐竹式精米機、調質機、色彩選別機を新たに設置  
 平成3年 代表取締役に角田朝則が就任  
 平成10年 新型精米機新ミルモアを設置  
 平成16年 高潮被害にあうが、精米機その他機器を新たに設置

### 米穀小売業の現状

米穀小売業は平成16年4月の食糧法改正で登録制が廃止され、届出制になったことでスーパーマーケット等大型量販店でもお米の取扱いが可能となったため、昔からの「お米屋さん」の数は減少が続いており、角田社長が理事長を務める香川県米穀小売商業組合の組合員数も設立時の530名から50名に減少しています。

また、食生活の変化によるお米消費量の減少、価格の低迷、農家の直接販売の拡大、後継者問題など業界を取り巻く環境は厳しいものがあります。



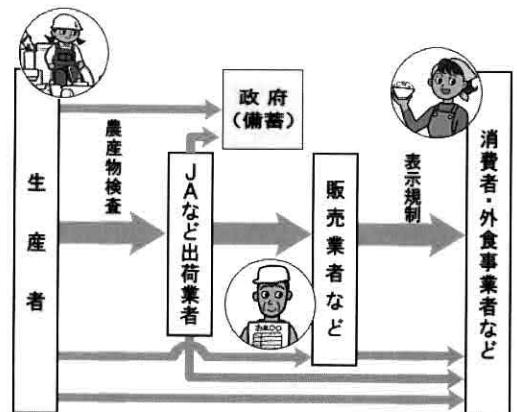
▲倉庫内にある玄米

### 生産者とのつながり

角田社長は三代目にあたり、高松港での船舶への納品を中心に、病院、ホテル、料理、仕出し、一般家庭への配達を行っていました。

取り扱うお米も以前は、地元の農協（JA）を通じてや卸売業者から仕入れが大部分でしたが、法改正による規制緩和で様々な流通経路からの仕入れが可能となりました。

お客様の細かなニーズに対応するため、当社ではお米の生産農家と契約、自社で精米、独自のブレンド米をして販売しています。契約している生産農家は50～60軒で、香川県内だけでなく島根県にもあります。生産農家には、角田社長が自らが足を運び、吟味したうえで仕入れています。



▲お米の主な流通経路



# 安心、安全で、おいしいお米を！

## お米へのこだわり

仕入れたお米は、当社でブレンドされますが、ブレンドはお米屋のノウハウの見せ所です。「ブレンド米」という言葉に対してあまり芳しくないイメージを持っている方もいるでしょうが、本来のお米のブレンドとは、かさ増しや不当な激安価格での販売のために行うものではなく、①食味の向上（複数の品種・銘柄を組み合わせることでより美味しいお米になる）②品質の安定（その年の出来や年間を通して品質を安定させることができる）③リーズナブルな価格での提供（単一のブランド米よりも販売価格を抑えることができる）といったメリットがあるのです。ブレンド次第で単品銘柄より美味しくすることも出来ます。ある特定の料理（寿司やチャーハン等）に特化したお米も作れます。

当社では、ブレンドは角田社長と「お米マイスター」である奥様が行っています。「お米マイスター」とは米に関する幅広い知識を持ち、米の特性（品種特性、精米特性）、ブレンド特性、炊飯特性を見極めることができ、その米の特長を最大限に活かした「商品づくり」を行い、その米の良さを消費者との対話を通じて伝えることができる資格のことで、日本米穀小売商業組合連合会が認定しています。

普段なにげなく食べてきた“ごはん”も、好みの美味しさを追求すると奥深い世界です。品種や精米方法、ブレンドによって、味や香り・食感、適した調理法合う料理なども様々です。プロの料理人の方は、和食、中華、洋食といった料理によって好まれるお米も違います。

ブレンド米はお米のプロが品種の系譜・食味分析の計測データ・長年の経験と感覚などを駆使して複数のお米を最適なバランスでブレンドすることで、単一の品種よりも美味しく、かつ安いお米をお客様に届けることを可能にしています。



▲お米マイスター認定書



▲精米機

## 安心・安全なお米をお客様に

平成22年10月の「米トレーサビリティ法」が施行されるなど食品に対する消費者の関心は深まっています。

食品の安全や品質を確保し、消費者から信頼され続けるようになるよう、消費者を基点として、消費者に対して安全で信頼されるお米を提供していかねければなりません。また、安全で信頼されるお米を消費者に提供するために、適切な衛生・品質管理を行う必要があります。

TPP（環太平洋連携協定）への参加について角田社長は「仮に米に対する関税がゼロになればおそらく牛丼チェーン店などの外食産業で外食産米が使用されるでしょう。しかし、私としては生産者の顔が見えないお米をお客様に販売することはできない」と話されました。



▲米トレーサビリティ法による表示

## 今後の抱負

昔からの、米を主食とした日本型食生活は、栄養のバランスが良く、肉などを中心にした欧米型食生活に比べて高血圧・心臓病・糖尿病などにかかる心配が少ないのです。

しかし、食べられるメニューが増え、食生活が豊かになるとともに、肉や油が多い欧米型になって、栄養のバランスがくずれてきており、米を中心とした日本型食生活の良さを見直すことが今まで以上に重要となってきています。

健康で元気に過ごすには、いろいろな食べ物をバランスよく食べることが大切です。米は栄養をたくさん含んでいる食べ物ですから、もっと食べてほしいと思っています。



▲角田社長

1日	人権問題研修講演会	(オークラホテル丸亀)
2日	農商工連携コーディネーター事業コーディネーター人材研修	(パールガーデン)
4日	中小企業組合検定試験	(マリンパレスさぬき)
5日	「経営者・後継者セミナー」・「青年部交流会」	(ホテルパールガーデン)
8日	中小企業団体情報連絡員合同会議	(国会)
//	テーマ別情報提供研修～9日	(全国中央会)
10日	小企業者組織化特別講習会	(高松国際ホテル)
13日	労働問題委員会	(全国中央会)
15日	小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業・委員会	(高松常磐町商店街振興組合事務所)
19日	地域経済融資動向に関する情報交換会	(四国経済産業局)
20日	第6次産業化促進事業対策事業に係る地域戦略構想書策定委員会	(ホテルニューフロンティア)
21日	高松市子育て支援中小企業表彰選考委員会	(高松市役所)

中小企業大学校  
研修の御案内

●お問い合わせ先

中小企業基盤整備機構近畿支部  
中小企業大学校関西校  
兵庫県神戸郡福崎町高岡  
TEL.0790-22-5931

- タイトル アジア市場への進出と戦略
- 日時 平成24年2月6日(月)～2月7日(火) [2日間]
- 会場 中小企業大学校 関西校
- 対象者 経営者(代表者、役員クラス)  
経営幹部(部長、工場長など経営後継者を含む部門長クラス)
- 受講料 21,000円(税込)
- 定員 30名
- 特色 ①アジア進出を検討する上で必要な現地の最新情勢を学びます。  
②アジア進出を実現する上で必要な手段と具体的な方法を学びます。
- 講師 プレインワークスグループ CEO 近藤 昇

※詳細情報

<http://www.smrj.go.jp/inst/kansai/list/23kansaiko/062450.html>

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	恋物語	西尾維新	講談社/1,365円
2	謎解きはディナーのあとで②	東川篤哉	小学館/1,575円
3	采配	落合博満	ダイヤモンド社/1,575円
4	体制維新一大阪都	橋下徹・堺屋太一	文藝春秋/893円
5	相性	三浦友和	小学館/1,470円

香川県書店商業組合調べ